

事業所名
松山東雲女子大学・松山東雲短期大学
取組内容
<p>女性の採用・登用や職域拡大のための取組</p> <p>職業生活と家庭生活等の両立を支援するための取組</p> <p>男女がともに働きやすい職場づくりのための取組</p> <p>その他、男女共同参画推進に向けた特色ある取組</p>
宣言内容
<p>松山東雲学園は、明るい夜明けへの希望を「しののめ」の名前に込め、130年前に四国最初の女子校として創立されました。松山東雲女子大学・松山東雲短期大学の教育理念は、知性と愛を育む教育にあります。「新しき世の鑑となる女性（ひと）」を育成するため、「豊かな知性の涵養と人格の陶冶」、「一人ひとりを伸ばす自立への教育」、「人と社会に仕え活躍できる女性の育成」を教育目的に掲げ、良質な大学教育の実現を目指してまいりました。</p> <p>1991年には、本学の教育・研究機能を広く社会に開放し、生涯教育の機会を提供するため「松山東雲エクステンションセンター（SEC）」を設立しました。2003年には、全国に先駆けて「キャリアサポートセンター」（現在は、キャリア支援課に移行）を設立し、全学的にキャリア教育を体系化いたしました。また、2008年には松山市の委託を受け、ひろば型地域子育て支援事業、「しののめ広場たんぽぽ」を開設し、多くの利用者を得て活発に地域子育て支援活動を展開しています。この他にも社会人に対し、専門資格取得や専門職研修などの教育機会を提供する学科単位の取組など、在学生はもとより、卒業生を始め広く社会で活躍する女性たちの生涯にわたる学びなおしやキャリアアップを支援する全学体制を充実させつつあります。</p> <p>男女共同参画や女性活躍推進についても、女性学関連科目の充実に加え、「えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会」「えひめ女性活躍推進協議会」等との連携強化を図りながら事業を推進していきます。</p> <p>こうした東雲の女子教育を支えているのが、ほかでもない本学の教職員たちです。これまでも、出産、育児期における女性教職員の就業継続、復職支援、さらには管理職への登用にも、積極的に取り組んでまいりました。2000年以降、出産や子育てのために退職した女性教職員は皆無、女性職員の管理職比率は37.5%、役職に就いている女性教員比率は48.1%です。今後も、教職員一人ひとりがその個性と能力を十分に発揮できる職場環境づくりを目指し、それぞれが業務改善、キャリアアップを図り、力を合わせて複雑で困難な時代を切り拓く実力を備えた女性の育成を実現してまいりたいと存じます。</p>